

# 新町長決まる

任期満了に伴う南越前町長選挙が、1月24日に告示され、無投票で岩倉光弘氏が初当選を果たしました。

就任のごあいさつ



この度、南越前町長選挙におきまして、町民の皆様方をはじめ多くの方々から、力強いご支援とご協力を賜り、町政の重責を担わせていただきましたこととなりました。

まだまだ未熟で浅学非才ではありますが、南越前町発展のために、全身全霊をかけて頑張っていきたいと考えておりますので、町民の皆様方のご支援とご指導・鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

さて、今後の町政につきましましては、平成27年3月に策定した南越前町総合計画の基本計画にあります「6つのまちづくり」に基づいて、しっかりと取り組んでいきたいと考えております。

岩倉町長の紹介・略歴

**岩倉 光弘**（上野・62歳）  
昭和48年3月 福井県立武生工業高等学校  
昭和49年7月 南条町役場入庁、企画拠点整備課長、産業振興課長を歴任。  
平成17年1月 南越前町商工観光課長  
平成20年4月 南越前町総務課長  
平成25年4月 南越前町副町長就任  
平成29年2月13日 南越前町長就任

## 元気で誰もが住みたくなるまちに

南越前町長 岩倉 光弘

南越前町は、本当に自然豊かな海・山・里と歴史的な文化遺産に恵まれております。また、JRや6年後に開業予定の北陸新幹線、北陸自動車道や福井県で唯一の南条SAもあり、交通に至便なまちでもあります。

こうした資源資産を更に磨いて、誰にも誇れて自慢のできる、素晴らしいまちにするために、全力を注いでいきたいと考えております。

### 人口減少対策

南越前町が抱えている喫緊の課題は何と言っても、人口減少問題と地域の活性化であります。

町の人口は、平成27年国勢調査では10,799人で毎年約150人ずつ人口が減少しており、福井県内でも17市町で3番目の減少率であります。若

者が町外に出ていかないための住宅政策や子育て支援策を真剣に考えていかなければなりません。

### 交流人口の拡大

#### ●観光客の誘致

交流人口を拡大し、地域の活性化に結び付けるため、観光客の誘致に力を入れていきます。そのために、町内の観光素材等に磨きをかけ、積極的に発信していきたいと考えています。

●河野北前船主通りの日本遺産認定および国重要文化財の中村家一般公開に向けた取り組みを進めるとともに、食事・物販施設の整備に取り組みます。

●今庄宿の町並み保存と重要伝統的建造物群保存地区選定に向けた取り組みを進めます。

●旧北陸線トンネル群をはじめとする鉄道遺産の活用と敦賀市等との広域連携を図ります。

●その他、町内の自然・歴史・文化遺産等を活用した観光客誘致に努めます。

#### ●南条SAの観光拠点整備

年間380万人が立ち寄る南条SAの上り線を利用した地域振興施設の整備にも努力していかねばなりません。昨年の6月に、ようやく国土交通省のモデル事業の採択を受けたところであり、ウエルカムゲートを開いたの地域特産物や農林水産物の販売ができる施設整備を進めていきたいと考えております。

### 雪に強い道路交通網の整備

雪に強い道路交通網の整備として、何といても栃ノ木峠の道路改良整備が挙げられます。現在は冬期間が通行止めですが、通常通行が可能になれば経済効果はもろろん、災害避難道路としても大変重要な路線となるところであります。

また、国道365号線の融雪整備も大切で、パイプラインの水利権を速やかに取得して整備を進めていきたいと考えております。

### 農林水産業の振興と人材育成

農業問題については、TAPPの問題・生産調整の問題で、ますます町の農地管理が厳しくなっております。やはり、集落の農地は集落で管理をし、守っていくための集落営農の推進が必要と考えるところであります。

また、林業においては、最近の若者は殆ど山に行くことがなく自分の山林の境や場所が分からないのが現状であります。そのため、GPS測量を利用した森林境界の明確化作業を実施して、今のうちに子供達や孫達にしっかりと財産を示しておくことが重要と考えております。漁業についても、漁港の整備と人材確保に力を入れていく必要があります。

**きめ細やかな子育て支援・教育振興**  
**および温かな高齢者福祉対策**  
これからの南越前町を背負っていく子供たちのためのきめ細やかな子育て支

## 平成29年県政功労者知事表彰

―表彰おめでとーございます―

福井県では、毎年「ふるさとの日」（2月7日）に、地方自治の振興および社会福祉、産業、教育、文化などの発展に貢献して、その功績が顕著な個人または団体を表彰しています。今年も、個人46人と2団体、南越前町では次の方が表彰を受けられました。

### 産業振興功労者

高橋 英一さん（眞谷・77歳）



昭和51年に福井県骨材工業組合理事長に就任以来、公共事業で発生する残土を盛土などの有効活用等に尽力し、骨材工業の発展に寄与されました。

【受章の声】この度は、名誉な賞を賜り、ありがとうございます。これもひとえに地域をはじめ多くの皆様方のおかげと感謝しております。これからも地域振興に、微力ながら尽くしたいと思います。

また、高齢者福祉対策には、年をとっても安心して暮らせるように、人との交流による健康維持や認知症予防が重要であり、ふれあいサロンや温泉施設を活用しながら、町民同士が集える場所の充実が大切であると考えております。

**健全な行財政運営**  
最後に、行財政改革であります。合併から今日まで歴代町長のおかげで本間に健全な財政状況となっております。計画的な行財政運営を行うための基金（貯金）である財政調整基金等は、合併時には7億円でしたが、現在は42億円まで積み立てられています。また、合併時に118億円あった一般会計の地方債残高借金は、現在、77億円まで減少してきております。今後とも、国県の補助金制度を優先的に考え、交付税措置の高い地方債を有効に活用して、健全財政を維持していきたいと考えております。

今後とも、元気で誰もが住みたくなる南越前町のまちづくりに不撓不屈の精神で一生懸命頑張りますので、町民の皆様方のご支援とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

### 激励会

## 第72回国民体育大会冬季大会 (ながの銀嶺国体) スキー少年男子 ジャイアントスラローム出場



2月15日〜17日に長野県（白馬八方尾根スキー場）で開催される第72回国民体育大会冬季大会に出場する田原駿太郎選手（合波の激励会が2月1日、町長室で行われました。川野町長から、「町および県の代表として、頑張ってきてください。」と励ましを受けた田原選手は、「初出場の国体ですが、頂点目指して頑張ります。」と力強く抱負を語りました。

## ～お疲れ様でした～ 川野順万町長 退任



職員から花束が手渡され、拍手で見送られました。

川野順万町長が2月12日をもって、2期8年間の任期を満了し、その職を退任されました。川野前町長は、昭和35年4月に河野村役場に入庁後、河野村収入役、河野村助役、河野村長を歴任。合併後は、南越前町長職務執行者、助役・副町長として増澤町政を補佐し、平成21年2月には、町長に就任されました。

その間、「住民主体の新しいまちづくり」をモットーに住民と対話しながら一緒にまちづくりを推進してきました。国道305号ホノケ山トンネルの開通、山海里集落支援事業の推進、防災行政無線の整備、民間介護サービス施設の誘致、町立認定こども園の開園、地域資源を活用したプロジェクト事業等、町の発展に貢献されました。

2月10日の退任式では、退任にあたり、「まちづくりの主役は住民であります。これからは、新町長のもと職員が一丸となって町に合った事務事業を進めてい